

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：対話と創造によるデザイン ILAS Seminar :Design through Dialogue and Creativity		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Institute for Liberal Arts and Sciences Professor,Takushi Sogo	
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits	2	Number of weekly time blocks 1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2026・First semester		Quota (Freshman) 20 (15)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods Thu.5
Classroom	Seminar room 23, ILAS Bldg.			Language of instruction	Japanese
Keyword	デザイン思考 / 水平思考 / 傾聴 / インタビュー				
[Overview and purpose of the course]					
人々が抱える問題やニーズを把握し、ビジネス上の新たな解決策を創出する手法として、近年、デザイン思考が注目されている。また、地球温暖化やエネルギー問題など、重層的で複雑化する現代の諸問題を解決するためには、異なる分野の専門家がチームとして協働し、さまざまな視点で総合的な解決策をデザインすることが求められている。広義のデザインを目的とするこうした活動においては、チームメンバーを含め、他者との対話を通して問題を探り出すスキルや、アイデアを創造的に生み出すスキルが求められる。 本セミナーでは、デザイン活動に必要なこれらのスキルについて、実際にデザインを実践しながら修得することを目指す。					
[Course objectives]					
・他者とのコミュニケーションに関わるスキルについて理解を深め、実践することで、対話に基づくデザインができる。 ・発散思考と収束思考、水平思考と垂直思考などについて理解し、問題発見と問題解決のそれぞれの段階においてそれらを意識した議論ができる。 ・さまざまなフレームワークについて学び、それらを活用して、自分たちで考案した解決策をさらに洗練させ、他者に効果的に伝えることができる。					
[Course schedule and contents]					
以下のような内容を取り上げるが、履修者の理解の状況等に応じて適宜調整する。 実習は基本的にグループワークで行う。 第1回～第6回 対話と創造の手法 ・イントロダクション ・垂直思考と水平思考 ・デザインのプロセス ・さまざまな思考法 ・傾聴 ・インタビュー 第7回～第14回 デザインの実践 ・フィールドワーク					
Continue to ILASセミナー：対話と創造によるデザイン(2)↓↓↓					

ILASセミナー：対話と創造によるデザイン(2)

- ・問題の深堀り
- ・解決方法のアイデア創出
- ・ストーリーを考える
- ・実現可能性を検証する
- ・プレゼンテーション

第15回 フィードバック

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

出席と実習への参加状況（50点）

課題提出（20点）

最終レポート（30点）

[Textbooks]

Not used

適宜、プリント等を配布する。

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

デザイン実践においては、グループで議論した内容をもとに、授業外で自分なりに整理したり調査したりすることを期待する。その他、適宜、講義中に指示する。

[Other information (office hours, etc.)]

- ・オフィスアワーは設定しない。質問があればメールにて随時受け付ける。

sogo.takushi.6x [at] kyoto-u.ac.jp

- ・キャンパス周辺でフィールドワークを行う可能性があるため、学生教育研究災害傷害保険に加入しておくこと。

- ・本セミナーでは、専門分野に固有のデザイン理論や手法（例えば環境や防災）については扱わない。

[Essential courses]